



佐藤 ひらりさん

GUEST Performer

5歳で「川の流れるように」に出逢い音楽に目覚める。第7回ゴールドコンサートにて「アメイジング・グレイス」を熱唱し史上最年少で受賞。東日本大震災後に初の自作曲「みらい」をつくり、CDの売り上げ100万円を震災遺児へ寄附。米国「アポロシアターアマチュアナイト」に出演し、ウィークリーチャンピオン獲得。イタリアでの単独コンサートやネパール地震の復興支援コンサートなど、海外でも活躍。第34回国民文化祭・第19回障害者芸術文化祭にて天皇皇后両陛下の御前で国歌斉唱。日比谷音楽祭、米百俵フェスなどの野外への出演や、「夢を叶える秘訣」を歌とトークで伝える学校講演など天使の歌声で観客を魅了している。第6回アジアゴールドスターアワードにおいて、文化貢献賞を受賞。第3回新潟県女性活躍アワード2021受賞。新潟県観光特使任命。三条市民栄養受賞。学校の校歌の制作や、登録者数30万人のYouTubeチャンネルのイメージソングやラジオ番組他、多方面へ楽曲提供やシンガーソングライター、作曲家、作詞家、音楽クリエイターとしても活動。2024年3月。イタリアのロッシーニ歌劇場と聖パウロ大聖堂にてアメイジンググレイスをオーケストラの演奏にて歌唱。10月。NHK BS 新・にほんの歌に出演。日本のスティービーワンダーとよばれるようなミュージシャンになりたいです！ ※東京2020パラリンピック開会式にて国歌独唱と、東京2020オリパラ公式の世界配信映像「MAZEKOZE アイランドツアー」に出演。

5月19日(月)
10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00 18:00 19:00
株主報告会 @ホテルメトロポリタン仙台
12:00 開場
未来への恋文 セミナー @ホテルメトロポリタン仙台
12:30~17:00
懇親会 @ホテルメトロポリタン仙台
17:30~19:30

5月20日(火)
11:30 集合 @S・Yワークス
Sato's ピクニック
12:00~15:00 ※雨天決行
15:00 解散 ※佐藤の自宅での解散となります
佐藤の自宅から仙台駅までのタクシーをお呼び致します。目安として20分程度かかると想定下さい。

seminar schedule
【ホワイト開場】11:45~
【セミナー会場開場】12:00~
12:30~12:40 opening
【第1講座】12:40~13:50 AI時代をどう生きるか ゲスト講師 塩沼 亮潤氏
13:50~14:10 休憩
【第2講座】14:10~15:10 災害・危機に如何に立ち向かうべきか ~リーダーとして考えたこと(仮) ゲスト講師 村井 嘉浩氏
15:10~15:50 休憩
Special Performance ゲストパフォーマー 佐藤 ひらりさん
【第3講座】15:50~17:00 S・Yワークス 代表取締役 佐藤 芳直
※セミナー終了時間は若干変動する可能性があります。詳細な時間は開催前にご案内します。

未来への恋文セミナーご参加者様限定
Sato's Picnic 2025 佐藤とピクニック2025
毎年恒例！佐藤芳直がプロデュースするスペシャルランチ企画♪日頃、社内イベントで鍛えられているS・Yワークス社員が、本気でおもてなしさせていただきます。やるからには、一切妥協無し！最高のワインに合わせた、料理にもご期待下さい！！

【日時】5月20日(火) 12:00~15:00
【集合場所】S・Yワークス
価格 38,500円/名(税込)
※恋文セミナーご参加企業様特別価格です。

第20回 未来への恋文 セミナー 2025 150席限定

THEME 人間の未来
不明確と言えるこの時代の中で、
永続を目的とする経営のロードマップを描く為のセミナー。
企業が存在し続けるということは、
まさに未来へ恋文を届けること。
社員、お客様、地域の未来を共に描いてみませんか？

ゲスト講師が決定！

GUEST SPEAKER
01 塩沼 亮潤氏 福聚山 慈眼寺住職
震災があった2011年以來の、恋文セミナーへのご登壇。AIが普及した今だからこそ、人間が生きる意味を語っていただきます。
AI時代をどう生きるか
02 村井 嘉浩氏 宮城県知事 / 全国知事会会長
まさに非常時を迎えようとしている今、震災当時を振り返り、どのように危機に立ち向かっていくのかをお伝えいただけます。
災害・危機に如何に立ち向かうべきか ~リーダーとして考えたこと(仮)

2025.05.19 MON
ホテルメトロポリタン仙台
勉強会 12:30~17:00 懇親会 17:30~19:30 ※時間は変更になる可能性があります

ご参加者特典
100年経営読本 プレゼント
100年経営の実現に向けた指南書！
年に一度の百年経営大会である、未来への恋文セミナー。セミナーを通して、経営の未来を考える上で必要なことをお伝えしてきました。今回は、これからの社会動向を予見し、理想の未来像を描くためにお役立ていただける、『経営読本』をご参加者様にプレゼントいたします。



ぜひ、理想を共にする社員の皆さまとご参加ください。

# 恋文セミナーが始まってからの約20年間。 私たちが越えてきた歴史に学ぶ。

第1回の『未来への恋文セミナー』が開催されてから、およそ20年。この20年間だけを振り返ってみても、日本、そして世界中で大きな危機が起こりました。そして、私たちはその危機に学び、明日の教訓となる言葉を受け取ってきたはず。20回目の『未来への恋文セミナー』。まさに危機に突入しようかという時代の渦中に、私たちはいます。様々な危機を超え、受け取ってきた言葉をいかに紐解き、この今に活かしていくのかを、全員で考えなければいけないタイミングです。危機にこそ発揮すべきリーダーシップとは何か。佐藤、そして2名のゲスト講師からお伝えします。

## 2006

### 第1回 未来への恋文セミナー

開業セミナーとして、S・Yワークスの創業と共に始まった、『未来への恋文セミナー』の歴史。船井幸雄先生をゲスト講師にお招きしました。

## 2008

### リーマンショック

アメリカの金融危機は日本にも影響を与え、株価はバブル崩壊期以上の水準に暴落。製造・飲食・小売業を中心に、非正規雇用者の派遣切りが社会問題化し、企業の雇用責任が問われる機会でした。



## 2011

### 東日本大震災

第6回 未来への恋文セミナーに塩沼 亮潤氏が登壇

村井 嘉浩氏が宮城県知事を務める

M9.0を超える大地震が東北地方を襲いました。物事の必然性・必要性、そして「なぜ今起こったのか」と、様々な意味を問い直された東日本大震災。「この経験があったから。」そう言える、日々を創っていくことの必要性を学びました。



## 2016

### トランプ大統領 第1期

### メリークリスマスと言えないN.Y

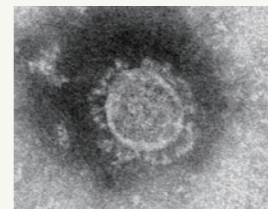
宗教観の押し付けと見なされ、「メリークリスマス」がタブー視されるようになったニューヨーク。多様性の名の下で様々な制約が生まれ、自由や多様性の意味を立ち止まって考える契機になりました。



## 2019

### COVID-19による世界的パンデミック

人と会うことが断絶されたコロナ禍の日々。当たり前だった日常の尊さを知りました。日々、危機的状況が続いた中で、非常時こそ理想を高く掲げることの大切さを、私たちは教えられました。



## 2024

### 能登半島地震

大きな危機もなく過ぎ去った前年の2023年。平穏が続くと思込んでいた矢先、年明け早々に起きた大きな危機でした。様々な危機的状況下で発揮され、受け継がれてきた日本人らしさを見つめ直す震災でした。



## 2025

### 止まらぬ円安と原価高騰

円安の煽りを大きく受け、原価高騰の勢いはとどまるところを知りません。値上げやサービス・商品の品質など、企業の在り方が問われはじめています。

2005

2010

2015

2020

2025

震災時の恋文セミナーでも講演いただいた塩沼氏、被災地宮城のリーダーとして危機に立ち向かった村井氏の、2名に登壇いただきます。



福聚山 慈眼寺住職  
塩沼 亮潤 氏

GUEST 01

## 「AI時代をどう生きるか」

過去 1300 年で二人目となる、1日 48km の険しい山道を千日間歩き続ける「大峯千日回峰行」を満行。その後、9 日間の断食・断水・不眠・不臥の中、20 万編の御真言を唱え続ける「四無行」を満行する。また、百日間の五穀断ち・塩断ちの前行の後、「八千枚大護摩供」を満行。大峯千日回峰行大行満大阿闍梨。2003 年に仙台市秋保に慈眼寺を開山。2021 年 12 月に「塩沼亮潤 大阿闍梨基金 ～ともに寄り添うプラットフォーム～」を創設。  
著書は『くらしの塩かげん』（世界文化社）、『寄りそう心』（プレスアート）、『幸いをいただきましてこのひとときを大切に』（幻冬舎）、『人生生涯小僧のこころ』（致知出版社）ほか。

昭和 43 年 (1968 年)	宮城県仙台市生まれ
昭和 62 年 (1987 年)	吉野山金峯山寺で出家得度
平成 11 年 (1999 年)	「大峯千日回峰行」満行 (千日間、1日 48km 巡行)
平成 12 年 (2000 年)	「四無行」満行 (9 日間、断食・断水・不眠・不臥)
平成 18 年 (2006 年)	「八千枚大護摩供」満行 (100 日間、塩断ち、五穀断ち後、一昼夜護摩供)

初登壇



宮城県知事 / 全国知事会会長  
村井 嘉浩 氏

GUEST 02

## 「災害・危機に如何に立ち向かうべきか ～リーダーとして考えたこと(仮)」

2011 年。当時、未曾有の災害と言われた東日本大震災が、宮城県・岩手県を中心とした東北地方の太平洋沿岸地域を襲いました。この時、被災地宮城県の県知事だったのが、村井嘉浩氏です。  
誰も経験したことのない災害にあたり、被災地のリーダーとして何を考え、どのようなリーダーシップを発揮し、復興へと先導していったのか。また、眼前に迫る危機に処方箋はあるのか。第 5 期を迎え、なおも現職で県知事を務める村井氏にお話いただきます。

【学歴】	昭和 59 年 (1984 年)	防衛大学校 (理工学専攻) 卒業
【職歴】	昭和 59 年 (1984 年)	陸上自衛隊幹部候補生学校入校
	平成 4 年 (1992 年)	財団法人松下政経塾入塾 (13 期)
	平成 7 年 (1995 年)	宮城県議会議員 第 1 期 (平成 11 年 第 2 期、平成 15 年 第 3 期)
	平成 17 年 (2005 年)	宮城県知事 (現在 第 5 期)
	令和 5 年 (2023 年)	全国知事会会長